

全国・県学習状況調査における生徒の結果分析（1年）

今年度の分析

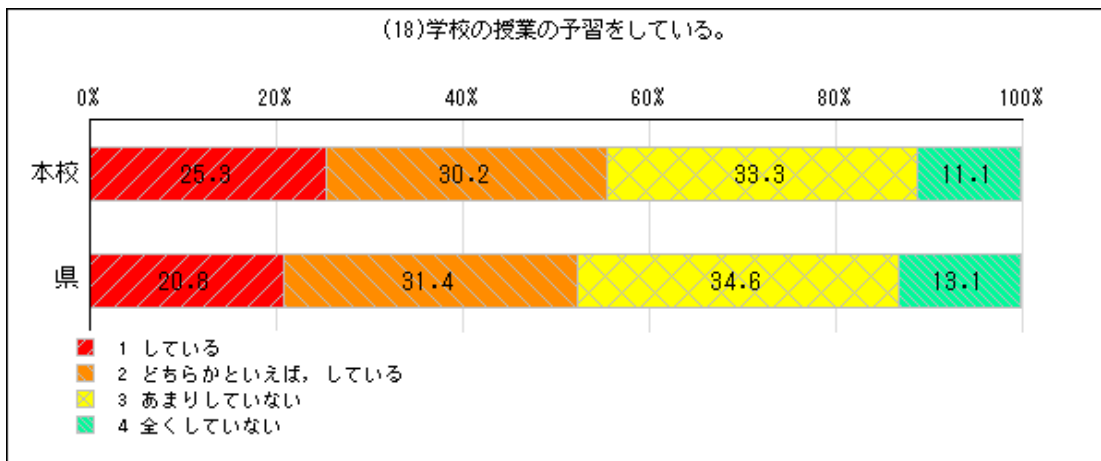
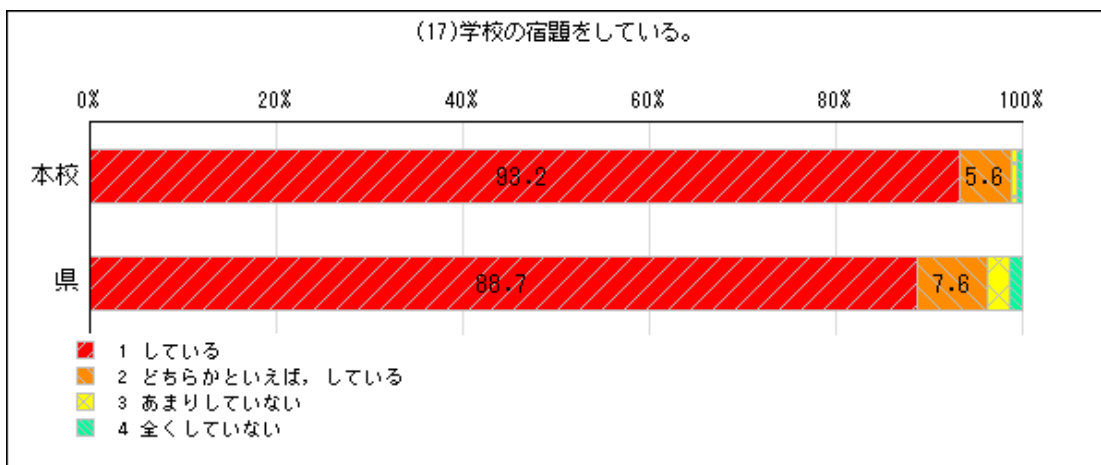
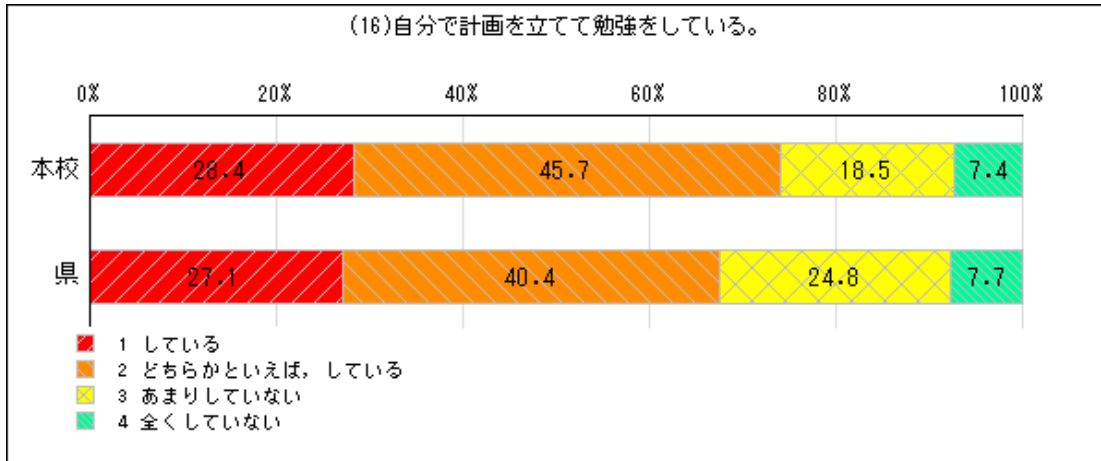
全体の概要	
国語	全体の正答率は、県平均とほぼ同じである。観点別では「話す・聞く」は県平均をやや上回っており、「書く」は大きく上回っている。「読む」と「知識・理解・技能」は県平均とほぼ同じである。
分析結果・課題把握	改善に向けた具体的取り組み事項
<p>話す・聞く</p> <p>正答率ではどの設問も県平均を上回っているが、活用する力が必要な設問については努力を要する。</p>	<p>話す、聞く力を実際に使う学習を多く取り入れ、その内容を文章でも表現できるようにする。</p>
<p>書く</p> <p>意味を変えずに一文を二文に書き直す設問では県の正答率を大きく上回った。引用して書き表す力は県平均をやや下回った。</p>	<p>自分の意見を書き表すということが苦手と考える生徒が多いと思われるため、例文を使うばかりでなく、自らの考えを表現する学習を増やす。</p>
<p>読む</p> <p>ほとんどの設問で県平均を上回ったが、内容把握の設問だけやや下回った。</p>	<p>文章一部分の把握に留まらず、全体を理解するような手立てを図る。</p>
<p>知識・理解・技能</p> <p>全体的には県と同程度だが、設問によっては大きく下回っているものもある（主語を捉える問題など）。</p>	<p>小学校で学習してきた文法への理解を改めて中学校でも取り扱い、丁寧に復習をする。</p>

今年度の分析

全体の概要	
数学	全体の正答率は県平均をやや上回っている。到達度分布をみると「要努力」の割合が低く、「おおむね達成」の割合が高くなっている。内容・領域別に比較したとき「数と計算」は県とほぼ同じであるが「量と測定」「図形」「数量関係」は県の数値を大きく上回っている。
分析結果・課題把握	改善に向けた具体的取り組み事項
<p>考え方</p> <p>県平均を大きく上回っている。すべての問題で、県平均と同じ程度か上回る結果となっている。</p>	<p>授業中に考え方を発表する場面を設定する。 また、定期テストでも記述式の問題を出題する。</p>
<p>技能</p> <p>県平均をやや上回っている。分数の計算は苦手としている傾向が見られた。</p>	<p>本校取り組みのすきるアップテストの実施により、基本的計算能力の定着を図るとともに、課題や小テストを利用して多くの問題に取り組みさせる。</p>
<p>知識・理解</p> <p>県平均をやや上回っている。県平均を上回る問題が多い中で、円周の長さを求める式が理解できていない者が多かった。</p>	<p>授業の中で数学用語の確認を行い、数学的表現を使って説明することで定着を図る。</p>

全国・県学習状況調査における生徒意識調査の結果分析（1年）

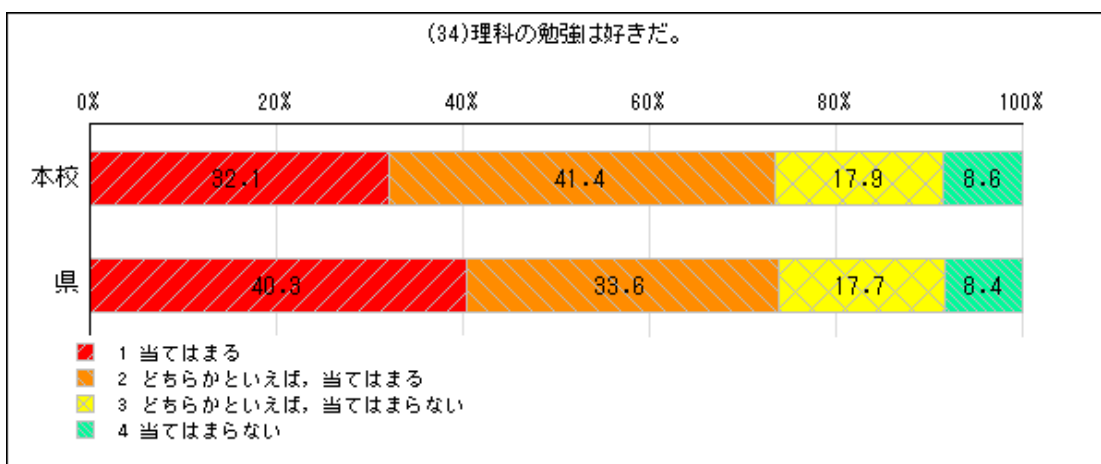
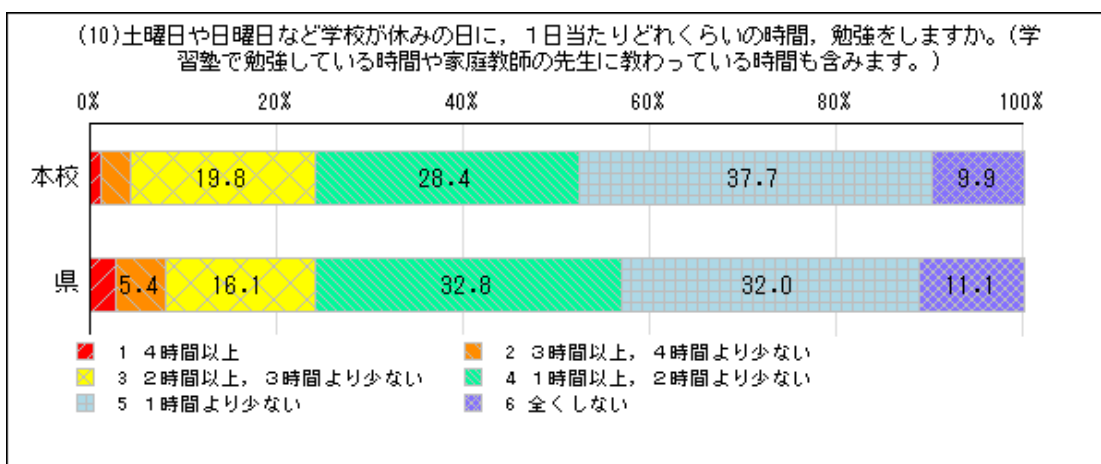
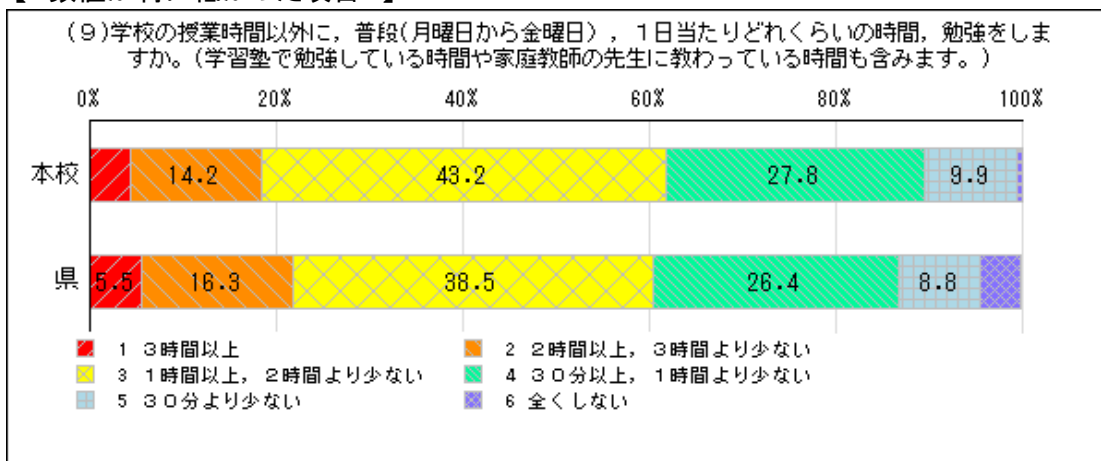
【 数値が特に高かった項目 】



分析と改善に向けた具体的取り組み事項

学習については比較的宿題にしっかり取り組める生徒が多く、授業に落ち着いて参加する生徒が多い。継続させるための支援をしていきたい。

【 数値が特に低かった項目 】



分析と改善に向けた具体的取り組み事項

土曜、日曜の学習時間が少ない。
 理科を苦手とする生徒が多い。
 自学ノート等の活用により家庭学習の取り組みに対する手立てを具体的に示し、家庭学習の充実を図っていきたい。